



れんごう茨城

2021年11月30日

No. 130

発行 日本労働組合総連合会
茨城県連合会
(連合茨城)

発行人・高木 英見／編集人・武田 宏司
〒310-0022 水戸市梅香 2-1-39
TEL 029(231)2020/FAX 029(227)8610

ホームページアドレス
<http://ws1.jtuc-rengo.or.jp/ibaraki/>

連合茨城 第29回 定期大会

〈会長挨拶〉



連合茨城会長
内 山 裕

この1年間も、新型コロナウイルス感染症への対応に追われ、大変厳しい状況の中での活動となりました。茨城県も含めた緊急事態宣言は解除され、全国の新規感染者数は減少傾向にありますが、感染拡大が完全に止まったわけではありません。現在においても、新型コロナウイルス感染症によって、尊い命が奪われ続けています。療養中の方々の一日も早い回復と、お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りいたします。

また、医療現場を始め、社会や国民生活を維持するために、様々な業種の最前線でご奮闘されている方々に対して、改めて心からの敬意と感謝の意を表するとともに、これらの職場における労働安全衛生対策の徹底にも、万全を期さなければなりません。

連合茨城は、働く者の安心確保のため、政策・制度実現活動や職場労使における対策の徹底など、構成組織との一層の連携を図りながら、全力で取り組んでまいります。

【第29回定期大会を終えて】

連合茨城は、この1年間の活動の総括と新年度に向けた活動方針を決定するため、10月29日に「第29回定期大会」を開催いたしました。定期大会で確認をいただいた、活動方針に沿いながら、一つ一つ丁寧に、確実に前進が図れるよう取り組んでまいります。

また、本定期大会では新たな第18期連合茨城執行体制も確立させていただきました。私は引き続き向こう2年間、3期目の会長を仰せつかりました。初心忘れることなく、精一杯取り組んでまいりますので、組合員皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【第49回衆議院議員選挙のご支援に心から感謝】

10月31日(日)に施行されました「第49回衆議院議員総選挙」

においては、連合茨城推薦・支援候補者へのご支援とご協力をいただきました。全ての皆様に心から感謝を申し上げます。

選挙結果については、既にご承知のこととは思いますが、茨城5区「浅野さとし」氏の小選挙区での当選、茨城6区「青山やまと」氏は小選挙区では惜敗したものの、比例北関東ブロックで当選をさせていただきました。茨城7区「中村喜四郎」氏は、比例北関東ブロックでの当選、茨城3区「梶岡ひろき」氏は、次点という結果でありました。

特に「野党共闘」についての評価は様々であるとは思いますが、連合は一貫して「共産党とは与しない」と主張をしてまいりました。様々な影響を及ぼしたことは事実であり、今回の選挙を振り返り、今後の政治活動のあり方について、十分な検証をしていきたいと思っています。

政治は「国民の命と財産を守る」ためだと言われます。各政党においては党利党略ではなく、現在の傷んだ経済を立て直すために、政治の信頼を取り戻すために、真に国民に寄り添った政治の実現をめざして欲しいと切に願います。

この度の総選挙において各種取り組みの推進にあたり、各構成組織の皆様、ご支援をいただいた県民の皆様、心からの感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

【私たちが未来を変える。安心社会に向けて】

本定期大会を、改めて新たな契機と捉え、私たちは新しい連合茨城の運動と歴史を創り上げてまいります。正に、茨城のナショナルセンターとしての自覚を持って、構成組織・地域協議会との一層の連携を図り、すべての働く仲間を「まもり」「つなぐ」ための、集団的労使関係の追求と、社会に広がりのある運動の推進を第一義としながら、取り組みを進めてまいります。

決して平坦な道のりではありませんが、この茨城で「連合茨城の発信力」を更に高めて、労働運動を通じ、県内の全ての働く仲間の幸せと、それぞれの産業・企業の発展、地域の発展を求めて、「地域に根差した顔の見える運動」を、愚直に進めていきたいと思っています。

今後とも連合茨城の活動へのご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

連合茨城 第29回定期大会会長挨拶	1
定期大会 質疑応答	2
第18期 連合茨城執行体制	3
表彰基準に基づく表彰・新規加盟組合	3

「2022～2023年度 政策・制度要求と提言」および「2022年度重点政策」の要求書提出報告	4
茨城県最低賃金が改正されました	4
しあわせセンター法律相談	4
茨城県知事との政策懇談会	5
第49回衆議院議員総選挙に対する御礼と結果報告	5
労働相談事例から	6



埴代議員（自治労）

Q

自治労

医福労連は、例年、学習会やシンポジウムの開催を通して、医療・福祉現場で働く組合員の交流や課題の共有、医療・福祉労働組合間の連携を積み重ねている。

先日は「今後の医療体制におけるコロナ禍での労務管理」をテーマに学習会を行った。また、医療資材の不足やコロナ受入れ病棟設置など、危機的状況に苦闘する中、「県知事要請書」として、2020年5月に、「感染防止対策の徹底・医療資材の確保・財政支援・PCR検査体制等」の要請を行い、コロナ対応に従事する職員や福祉職場で働く職員の労働環境改善を求めた。ワクチン接種が検討・要請された、本年4月には、「ワクチン接種体制の構築・同意に基づくワクチン接種・副反応発生時の特別休暇の配慮」などを共通する課題として求めた。

今後も、コロナ感染症の第6波が懸念される中で、公的病院の機能分化を策定する「地域医療構想」における、新型感染症への対応が検討されていくこととなっており、引き続き、連合茨城のご理解とご指導をいただきながら、医福労連の取り組みを進めていきたい。

A

連合茨城

コロナ禍において医療、介護、福祉の職場で働く方々に心から感謝・御礼を申し上げる。連合茨城には医福労連・退職者連合・ハイタク協議会を設置しており、それぞれが厳しい環境で様々な課題を抱えている協議体なので、連合茨城としても特に連携して運動を進めている。去年はコロナウイルス感染症拡大の対策として県にいくつかの要求・提言をした。さらに10月22日には連合茨城として「2022～2023政策制度要求の提言」を要求し、その項目のひとつで医療分野においては「切れ目のない医療サービスを提供する体制の確立」として第7次医療計画・地域医療構想の推進に関する具体的な要望を行った。

今後とも医福労連と連携をし、医療の現状を教えていただきながら運動を推進したい。安心安全な医療の取り組みについては、全ての組合に関わることであるので、連合茨城総体として取り組んでいく。



ガンパロー三唱



定期大会の様子

第18期 連合茨城執行体制

(2021年10月29日～2023年10月定期大会まで)

● 新規役員



会田副会長
(自動車総連)



松本執行委員
(JEC連合)



森本執行委員
(政労連)



堂込執行委員
(UAゼンセン)



武田副事務局長
(UAゼンセン)

● 期中交代となった新役員



石橋副会長
(基幹労連)



関執行委員
(中央地協)



中郡執行委員
(常陸野地協)



梅原執行委員
(鹿行地協)



狩谷副事務局長
(電力総連)



橋本副事務局長
(基幹労連)

役職名	氏名	組織名	備考
会 長	内山 裕	電機連合	(専従)
副 会 長	久保田利克	電機連合	
	石橋 学	基幹労連	
	山本 勇	JAM	
	小島 弘行	UAゼンセン	
	西條 昌利	電力総連	
	菅原 康弘	私鉄総連	
	関口 喜一	情報労連	
	会田 和博	自動車総連	新
	千歳 益彦	自治労	
	杉山 繁	日教組	
	大関 英二	J P労組	
	中島 智美	UAゼンセン	
事 務 局 長	高木 英見	UAゼンセン	(専従)
副 事 務 局 長	大森 玄則	電機連合	(専従)
	狩谷 祐一	電力総連	(専従)
	橋本 博行	基幹労連	(専従)
	武田 宏司	UAゼンセン	新(専従)
執 行 委 員	藤田 実	電機連合	
	富田 健一	基幹労連	

役職名	氏名	組織名	備考
執 行 委 員	松本 浩二	JEC連合	新
	野中 弘明	全国農団労	
	森本 憲次	政労連	新
	上原 潤一	J R総連	
	吉田 悟	全国競馬連合	
	堂込麻紀子	UAゼンセン	新
	嶋田 澄夫	国公総連	
	川原井文夫	全水道	
	皆川 理恵	J P労組	
	蛭田 光一	電機連合	
執 行 委 員 (地協議長)	中郡 勝男	電機連合	
	関 厚	J P労組	
	梅原 清活	基幹労連	
	池田 正人	私鉄総連	
	斎藤 義夫	日教組	
	鈴木 隆	基幹労連	
	矢吹 健幸	フード連合	
会 計 監 査	飯泉 誠	運輸労連	
	金田 光弘	森林労連	

表彰基準に基づく表彰

功労表彰

役職	氏名	組織	任期	在任期間
副 会 長	赤澤 義明	基幹労連	2012. 9.20～2021. 8.31	8年11ヵ月
副 会 長	荒川 友久	自動車総連	2017. 10.27～2021. 10.29	4年
副事務局長	綿引 哲也	基幹労連	2014. 9. 1～2021. 8.31	7年
副事務局長	稲田 泰則	電力総連	2017. 7. 1～2021. 6.30	4年
執 行 委 員	中岡 誠一	UAゼンセン	2017. 10.27～2021. 10.29	4年

役職	氏名	組織	任期	在任期間
執 行 委 員	小林 浩二	JEC連合	2020. 10.29～2021. 10.29	1年
執 行 委 員	青木 伸廣	政労連	2017. 10.27～2021. 10.29	4年
執 行 委 員	菅原 功	常陸野地協 (電機連合)	2018. 8.23～2021. 8.26	3年
執 行 委 員	根矢 和弘	中央地協 (情報労連)	2015. 11.13～2020. 11.27	5年
執 行 委 員	山中 俊典	鹿行地協 (基幹労連)	2017. 9.21～2021. 8.31	3年11ヵ月
執 行 委 員	友信 勝美	県南地協 (自治労)	2017. 11.17～2021. 6.17	3年7ヵ月

新規加盟組合

基幹労連茨城県本部		代表者名	支部長 大越 大輔
組 合 名	MMC リョウテック労働組合 茨城支部	住 所	守谷市百合丘1-2371
		組織人員	98人

「2022～2023年度 政策・制度要求と提言」 および 「2022年度重点政策」の要求書提出報告

1. 日 時 2021年10月22日（金） 10時00分から
2. 場 所 茨城県庁・茨城県産業戦略部長室
3. 出席者 〈茨城県〉
榊原産業戦略部次長、酒井労働政策課長、
須能労働政策課長補佐
〈連合茨城〉
内山会長、高木事務局長、狩谷副事務局長
4. 要請内容 「2022～2023年度 政策・制度要求と提言」
「2022年度重点政策」



内山会長より榊原産業戦略部次長へ
政策要請書を手交する

茨城県最低賃金 が改正されました

年齢やパート学生・アルバイトなどの働き方の違いにかかわらず、すべての労働者に適用されます。

みんなチェック！
最低賃金

2021年10月1日から

時間額

879 円

28円
UP

特定の産業には、以下の特定（産業別）最低賃金が定められています

産 業 名	時間額	引上げ額	引上率	効力発生日
鉄 鋼 業	975円	30円	3.17%	2021年12月31日 から適用
一般機械器具製造業	935円	28円	3.09%	
電気機械器具製造業	932円	28円	3.10%	
各種商品小売業	881円	7円	0.80%	



しあわせセンター
法 律 相 談



2022年
年間スケジュール

1 月 15 日 土

2 月 19 日 土

3 月 12 日 土

4 月 16 日 土

5 月 21 日 土

6 月 18 日 土

7 月 23 日 土

9 月 10 日 土

10月 15 日 土

11月 19 日 土

12月 17 日 土

相談会場 茨城県労働福祉会館 4 階 「連合茨城事務所内」 TEL 029-231-2020

相談時間 午後 1 時～（相談時間は 1 人 30 分）

2021年11月16日(火)

茨城県知事との政策懇談会を開催

11月16日(火) 16時から水戸三の丸ホテルにおいて、茨城県知事との政策懇談会を開催しました。茨城県からは大井川知事をはじめ関係部局、連合茨城からは、内山会長をはじめ、副会長などが出席しました。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、「冷え込んだ県内経済の活性化に向けた取り組みや事業継続」と「雇用の維持・確保」に関する取り組み。医療関係では、「医療従事者の負担軽減対策」また、「季節性インフルエンザ流行期を見据えた医療供給体制整備」などについて、積極的な意見交換を行いました。

テーマ

① 雇用・経済対策について ② 医療体制について



内山会長



大井川知事

第49回 衆議院議員総選挙に対する 御礼と結果報告

連合茨城推薦・支援の各候補者の結果につきまして、下記のとおりとなりました。これまでの構成組織ならびに地域協議会の皆さまの様々な活動へのご理解とご協力に心より感謝申し上げ、御礼と結果報告といたします。

第49回 衆議院議員総選挙結果

- 選挙日程 10月19日公示 10月31日投開票
- 投票率(%) (小選挙区) 県計：52.54 (前回51.53) 全国：55.93 (前回53.68)

連合茨城推薦・支援候補者結果

【推薦候補者】

選挙区	投票率	推薦候補者	党派	選挙結果	得票数(票)	投票率(%)	惜敗率(%)
茨城5区	53.30	浅野 哲	国民民主	当選	61,373	53.30	—
茨城6区	53.62	青山 大人	立憲民主	(比例)当選	113,570	53.62	90.3

【支援候補者】

選挙区	投票率	推薦候補者	党派	選挙結果	得票数(票)	投票率(%)	惜敗率(%)
茨城3区	53.52	梶岡 博樹	立憲民主	次点	63,674	53.52	58.1
茨城7区	53.71	中村喜四郎	立憲民主	(比例)当選	70,843	53.71	95.2

労働相談事例から No.19

退職時の有給休暇の買い上げと単価について

相談内容

Consultation

定年で12月末に退職することになりましたが、なかなか有給休暇が消化できずに15日分が消化できそうにありません。そこでその分の買取をお願いしたところ、会社から「1日3,000円で買い上げる」という提案がありました。これでは余りにも安すぎると思うのですが。

対応内容

Correspondence

有給休暇の買い上げは以下の3つの例外を除いて、原則として認められていません。

- 有給休暇の有効期間である2年を過ぎて、時効になる分の買い上げ
- 法定の付与日数を超えて有給休暇を与えている場合、その超過部分の買い上げ
- 退職時に未消化で残った分の買い上げ

また、使用者は労働者が有給休暇を取得した際に支払う賃金の計算方法は、以下の3種類から選択することができます。(労基法39条9項)

- ◆ 所定労働時間労働した場合に支払われる通常の賃金
- ◆ 平均賃金（直近3カ月の賃金総額÷休日を含んだ暦日数）
- ◆ 健康保険法に定める標準報酬日額に相当する金額（労使協定が必要）

しかし、有給休暇の買い上げ金額については法的な基準が定められていません。従って、ご相談のように3,000円で法に抵触するわけではありませんが、多くの企業は所定労働時間働いた場合に支払われる通常の賃金を払っていますので、一度会社と話し合ってください。また、トラブルを起こさないためには組合と会社で買い上げの場合の計算方法を決めておくことが大切です。

